

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成16年11月11日(2004.11.11)

【公表番号】特表2000-503223(P2000-503223A)
【公表日】平成12年3月21日(2000.3.21)
【出願番号】特願平9-525823
【国際特許分類第7版】
A 6 1 B 8/00
【F I】
A 6 1 B 8/00

【手続補正書】
【提出日】平成15年12月24日(2003.12.24)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年12月24日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第525823号

2. 補正をする者

事件との関係

特許出願人

住 所

イスラエル国 91120 エルサレム、ピー オー ボックス
12000

名 称

ハダジート メディカル リサーチ サービスーズ アンド
デベロップメント カンパニー リミテッド

3. 代理人

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1丁目2番29号虎ノ門産業ビル6階

(63174) 弁理士 佐々木 功

電話 (3591) 0271 (代表)



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲の全文

6. 補正の内容

別紙のとおり

7. 添付書類の目録

(1) 請求の範囲

1 通

方 式
審 査

請 求 の 範 囲

1. 生体又は人工組織の外層領域における粘弾性及び異方性を検査するプローブであって、

離隔配置され且つ面接触形成縁部を各々有している少なくとも1群の圧電式トランスデューサを包含する集合体であり、上記トランスデューサの1つがトランスミッタとして作動し、他のトランスデューサの少なくとも1つがレシーバとして作動するものである集合体と、上記集合体に制御された軸線方向運動をもたらす手段と、検査されるべき組織の領域の面に関してトランスデューサにより及ぼされる接触圧を制御する手段とからなり、

上記集合体は選択された軸線方向移動において上記の集合体に角運動をもたらす手段によって角度的にも移動可能であり、集合体に角運動をもたらす該手段が集合体を予め設定された角度だけ回転させるようにしてなることを特徴とするプローブ。

2. 機械的緩衝体として作用するシリコン・ゴム層により接合され、かつ該トランスデューサを保持する、少なくとも3枚の剛性板を上記の集合体が備えていることを特徴とする、請求項1に記載のプローブ。

3. 上記の集合体の剛性板には筒状区画と並んで孔が形成されており、各筒状区画が上記の剛性板の1つと接触状態又は一体的になされており且つ一對の接触子形成用導電性スプリングのハウジングを形成しており、各対のスプリングが圧電式トランスデューサを支承していることを特徴とする、請求項2に記載のプローブ。

4. 等間隔を以て離隔配置された2つのレシーバが側面に位置している単一のトランスミッタを、上記の各群が備えていることを特徴とする、請求項1乃至3のいずれかに記載のプローブ。

5. 上記の各トランスデューサの接点形成縁部が電氣的絶縁材料製の部片に嵌合しており、上記のトランスミッタとレシーバとの先端部間に所定の正確な距離をもたらす形状に上記の部片がなされていることを特徴とする、請求項1乃至4のいずれかに記載のプロープ。

6. 上記集合体の軸線方向移動がハンドル部分に人為的に力を加えることにより行われることを特徴とする、請求項1乃至5のいずれかに記載のプロープ。

7. 上記集合体の軸線方向移動がモータ作動式駆動源により行われることを特徴とする、請求項1乃至6のいずれかに記載のプロープ。

8. 上記集合体に制御された軸線方向運動をもたらす上記手段が、力感知式レジスタを基礎とする接触圧制御ユニットを備えていることを特徴とする、請求項1乃至7のいずれかに記載のプロープ。

9. 可撓性を有する電氣的ケーブルにより相互に連結されたプロセッサとディスプレイとを更に備えていることを特徴とする、請求項1乃至8のいずれかに記載のプロープ。

10. 解放端部を有する筒状ハウジング部分と握りハンドルとを包含するピストルのような形状に、上記のプロープがなされていることを特徴とする、請求項1乃至9のいずれかに記載のプロープ。

11. 上記集合体が上記筒状ハウジング部分の内部に、上記の解放端部に隣接して配置されていることを特徴とする、請求項10に記載のプロープ。

12. ハウジングの解放端部と嵌め込み式に係合しており、筒状ハウジングの内部方向に圧入することによりスイッチを操作するように配置されたフランジ付き管状部材を更に備えていることを特徴とする、請求項10又は11に記載のプロープ。

13. 上記スイッチが電源からの電力供給をもたらすことを特徴とする、請求項

10に記載のプロープ。

14．電源が握りハンドルの内部に配置されていることを特徴とする、請求項13に記載のプロープ。

15．上記集合体の軸線方向移動を設定し、検査されるべき組織の表面に対して上記トランスデューサにより加えられる圧力を決定するトリガーを更に備えていることを特徴とする、請求項10に記載のプロープ。